



横浜 アクション マップ

指 × 地域で描く未来



横浜で活動する若者団体を集めました!

「若者の地域活動は、とても楽しい!」

そんな魅力をもっと多くの人に届けたいという思いから、私たちは2年前に「横浜アクションマップ」を制作しました。ありがたいことに、想像以上の反響をいただき、若者の活動を知るきっかけになった、つながりが生まれた、という声も寄せられました。

横浜には、地域を大切に思い、地域の人たちと関わりながら活動している若者が数多くいます。アクションポート横浜では、2020年から「横浜アクションアワード」を通じて、そうした若者たちの挑戦や実践を応援してきました。その中で、活動の広がりとともに、オンライン化や社会環境の変化により、若者の地域活動が「見えにくくなっている」現状も感じるようになりました。

こうした背景を踏まえ、改めて若者の活動を見える形で共有し、出会いや連携が生まれやすい状態をつくりたいと考え、今回あらためてアクションマップを制作しました。

このマップを通じて、横浜で活動する若者たちの主体的で魅力的な取り組みを知っていたければ嬉しいです。これほど多様で活発な若者のコミュニティが地域に存在していることは、横浜にとって大切な財産であり、私たちの誇りでもあります。

「地域活動に参加したい」「若者と一緒に関わりたい」「誰かの力になりたい」——そんな思いが芽生えたとき、このマップが一步踏み出すきっかけになれば嬉しいです。若者の活動と地域の魅力が重なり合い、これからも新しいつながりが生まれていくことを期待しています。

目次

第一部「横浜アクションマップ」

横浜アクションアワードとは	・・・ 2
団体一覧	・・・ 3
団体の活動紹介のページ	・・・ 5
行政の取り組み	・・・ 15
NPOインターンシップの紹介	・・・ 16

第二部「作成にあたって」

横浜アクションマップを作成してわかったこと	・・・ 19
コラム 若者と地域をつなぐ現場から	・・・ 23
NPO法人アクションポート横浜活動紹介	・・・ 24
ご支援・ご協力いただいた皆様	・・・ 26

横浜アクションアワードとは

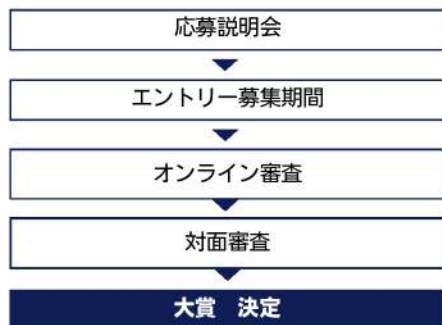
横浜アクションアワードは、**若者と地域のNPOや団体が協働している事例**を多くの方に知ってもらい、広げていくことを目的にしています。そのため、活動の表彰に加え、活動を応援する場、つながりを広げる場としての工夫を設けています。

審査員は、企業や行政、NPO、高校生など**多様なまちのプレイヤー**が務め、プレゼン審査当日は一般の来場者にも審査に参加していただけるほか、参加団体と参加者がつながる交流タイムも用意しています。さらに、受賞団体には、活動に役立つプライスレスな支援を**サポートメニュー**として提供するなど、団体の活動支援の輪を広げ、持続可能な「若者×地域」の活動事例が増えていくことを目指しています。



発信する	つながる	未来へつなぐ
学生と地域の連携による活動の魅力や意識、そして課題を発信していきます。	参加団体同士、団体と参加者、いろいろな人がつながり合う場を運営します。	この場での出会いが活動を次のステージへ、未来へとバトンをつなぎます。

1年の流れ & 応募資格



- ・横浜市及び近隣での活動であること
- ・30歳以下の若者グループ・個人であること
- ・若者と地域コミュニティの連携事例であること
- ・地域活性化や社会性の高い活動であること
- ・2025年度に実施している活動、および2026年度に実施予定の活動

NPO法人アクションポート横浜紹介



APYは**若者**と**NPO**をつないでまちを盛り上げるNPOです

アクションポート横浜では、大学生をはじめとした若い世代が主体となり、まちに関わる様々なプロジェクトやイベントを運営しています。また、若者とNPOの協働事業や、若者と企業が連携するプロジェクトにも取り組んでいます。

「何かやってみたい」と思っている若者の皆さんはもちろん、若い世代を受け入れたい、一緒に活動してみたいと考えている団体・企業の皆さまも、ぜひお気軽にお声がけください。



アクションポート横浜への参加お待ちしております！



NPO法人アクションポート横浜

公式ホームページ

〒231-0023 横浜市中区山下町94番地横浜中華街/パーキング協同組合内

TEL: 045-662-4395

Mail: info@actionport-yokohama.org



栄区・金沢区・磯子区

- 22 かながわ学生ボランティア連合 金沢区
23 せとさんち 金沢区
24 横浜市立大学 金沢区
学生ボランティア団体 Clover
25 横浜市立大学ボランティア団体 金沢区/鶴見区
one by ONE
26 LINKAI横浜金沢ラボ研究室 金沢区
27 横浜市立大学柴田ゼミ 金沢区/横浜市
ねぎとろ/NEGITOLLO
28 横浜市立大学医学部YDC 金沢区

港北区・都筑区・青葉区

- 29 きちじつ!まったりルーム 港北区
30 師岡こども学習会 港北区
31 慶應義塾大学公認学生団体 港北区
S.A.L.Oikosプロジェクト
32 東京都市大学 ISO学生委員会 都筑区
33 あおばコミュニティ・テラス 青葉区
34 桐蔭横浜大学 青葉区/横浜市
ボランティアサークルVinca

鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区

- 35 ユニゲート 鶴見区
36 NPO法人まち×学生 神奈川区
プロジェクトPlus
37 サンタクリーン大作戦 神奈川区
38 AgridgeProject 保土ヶ谷区
39 KIKCAFE学生部 保土ヶ谷区
+チーム平成
40 かたびらカモ隊 保土ヶ谷区
41 ほどがや無料塾 保土ヶ谷区
42 ワダヨコ 保土ヶ谷区
43 てらこやみなどみらい 保土ヶ谷区
/西区/中区

西区・中区・南区

- 44 あすのち 西区
45 FPTEENS×一般社団法人横浜西口 西区
エリアマネジメント
46 関東軽音部 西区・港北区
47 NPO法人Connection of 西区
theChildren
48 野毛坂グローバル 西区
49 かんきょう文化祭 中区
50 一般社団法人GRAF(グループ) 南区
51 スリバチ 南区
52 下町編集室OKASHI 中区/南区
53 にじいろ探検隊 中区
54 Re.BASE 中区

横浜市全域・全国

- 55 Canvas 横浜市内
56 NPO法人HpRun 横浜市内
57 ヨコハマゼロワン 横浜市内
58 全国学生ボランティアフォーラム 全国
59 NPO法人アクションポート横浜 横浜市内

横浜アクションマップから感じたこと 編集学生の視点から

今回、学生2人を中心に59団体の方とやり取りを行い、情報を集め、本マップを作成しました。作成を通して、学生の視点から感じたことをまとめます。

今年度は、若者団体の数、そして私たちが実際にやり取りできた団体の数が大きく増加しました。一昨年38団体、昨年42団体であった掲載団体数は、今年度は59団体となり、**年々広がりを見せています。**

その背景には、**団体同士や地域の人とのつながりが広がっている**ことがあります。意識的に連携している団体だけでなく、知らないところでゆるやかにつながりながら活動しているケースも多く見られました。

また、**企業やNPO、コーディネーターと連携しながら取り組む団体**が増え、地域内の関係性がより立体的になっています。あわせて、地域を軸に活動する団体や、**設立から1年以内の新しい団体**が増えていることも特徴です。

活動の担い手も多様化しており、特定の大学に限らず、「やりたいこと」や「地域」を軸に集まる団体が増えています。大学生だけでなく、社会人や高校生など世代を超えた活動も広がっており、**学生時代の活動を社会人になっても継続する人や、これまでの経験や特技を生かして地域に関わる団体**も見られました。

一方で、多くの団体からは、活動を継続するうえでの課題として、**メンバーのモチベーション維持や世代交代の難しさ**が挙げられました。特に、代表や運営を担う次の世代が見つからず、主体的に活動を引き継ぐ新メンバーの確保に悩む声が多く聞かれました。

こうした中で本マップには、**区内・市内で活動する他団体の存在を知り、つながることで、困ったときに協力し合える関係を築きたい**という期待が寄せられています。団体同士が互いの活動を知り、**地域の中で支え合うことが、活動の継続や人材の循環につながる**可能性があると考えます。

本マップが、**これから地域に関わりたい若者にとっての「はじめの一歩」となる**と同時に、**すでに活動している団体にとっても、つながりを広げ、活動を続けていくための支え**となることを期待しています。



2020/2022年出場

旭区

7.サコラボ



- 2017年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が左近山団地に居住し、地域住民と一体となって地域活性化に取り組む。ピザ窯を作ったり、映画祭を開催したりと、ユニークなイベントを企画・実施。地域の小中学校とも連携し、地域ぐるみの教育活動にも力を入れている。



2026年出場

旭区

8.希望が丘TONKAN(希望が丘チャレンジベース)



- 2025年/様々な大学
- 「まちの交差点」をコンセプトに、地域・学生・NPO法人・企業がタッグを組み、希望が丘チャレンジベースの整備を行う。希望が丘のまちの交流を増やす様々な人の挑戦を支える場を設計施工する。



華大賞

2020/2021/2022年出場

泉区

9.NPO法人Miks



- 2021年/様々な大学・高校生
- 高齢者向けにスマホ講座等のデジタル支援を行っている。地域活動を始めたい方向けに、スマホサポーター養成講座も開催。ケアプラザや役所、自治体と連携しながらデジタル偏差値の向上を目指している。



10.エコキャンパス研究会



- 2002年/フェリス女学院大学
- 泉区役所と連携し、ペットボトル削減やマイボトル普及に向けた啓発動画を作成。また、地元のカフェやベーカリーとコラボし、地域産の食材を使ったメニュー開発や、学園祭でのパン販売など、地域に根ざした取り組みを行う。



2023年出場

泉区

11.国際協力団体キープ・ザ・スマイル



- 2020年/フェリス女学院大学
- 発展途国の人々の暮らしを改善するため、国際協力活動を行う。フェアトレード商品の販売やイベント開催を通して、発展途国への現状を日本に伝えるとともに、学生や地域住民への啓発活動を実施。また、発展途国への調査も実施し、より効果的な支援を目指す。



泉区

12.STUDY FOR TWOフェリス女学院大学支部



- 2025年/フェリス女学院大学
- 大学内で古本を回収し、それを再販売し、得た利益で途上国の子どもたちの教育支援をしている。現在、150冊以上の本を回収しており、販売に向けて積極的に活動中。



■団体の情報発信ツールはInstagramが一番多い

Instagram
52団体

ホームページ
41団体

X (旧Twitter)
31団体

Facebook
27団体

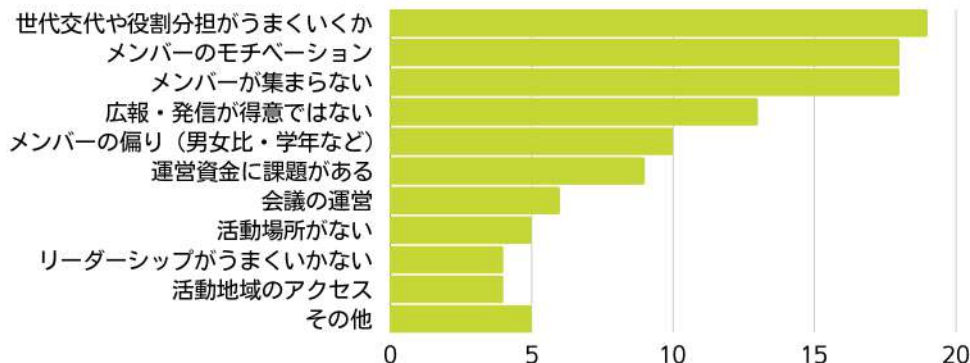
調査によるとInstagramのアカウントがある団体が52団体/59団体、ホームページがある団体が41団体/59団体であり、X (旧Twitter)は31団体/59団体、Facebookページがある団体が27団体/59団体であった。

やはり、若者の主流はInstagramであるといえる。

■活動上の課題は「世代交代や役割分担」が最多

本マップ作成を通して、団体が抱える課題として最も多く挙げられたのは、**世代交代がうまくいかない**という点であった。メンバーの入れ替わりが前提となる中で、十分に引き継いでいない団体が多いことがうかがえる。

また、次に多かった課題は**メンバーのモチベーションの維持**であり、世代交代が円滑に進まないことで、活動の目的や役割が共有されにくくなり、結果としてモチベーションの低下につながっている可能性がある。



一方で、一昨年は「広報・発信が得意ではない」という課題が最も多く見られたが、今年度はその順位が下がっている。これは、SNSの普及やAIツールの発達により、発信のハードルが下がり、一定程度解決されつつあるためだと考えられる。

19. 明治学院大学学生ボランティア団体 あなたのとなりに。-SBC-



- 2024年/明治学院大学
- 能登半島および戸塚区にて、被災地での継続的なボランティアや物産展や展示会、活動報告会の実施といった地域支援を行う。他にも戸塚区のお祭りやイベントのお手伝いや小学校の授業のサポートなどにも携わる。



20. Umee Coffee



- 2024年/明治学院大学
- フェアトレードおよびオーガニックのオリジナルブレンドドリップパックを、学内外のイベントで販売。イベントや学内活動を通じて、メンバー一人ひとりがフェアトレードや環境問題、コーヒーに関する知識や理解を深める。



21. 新世代創造ミーティング



- 2024年/様々な大学, 高校生
- 日限山周辺に住む高校生、大学生4人で結成された地域貢献を目的としたグループ。防災をテーマにした「こどもクイズラリー」を日限山地域ケアプラザで開催し、子どもを中心に98人が参加した。若い世代への防災意識啓発を行う。

22. かながわ学生ボランティア連合



- 2020年/様々な大学
- フードバンク支援「お米一合運動」の実施、子どもの居場所づくりイベントの企画、地域イベントのサポートを主にしている。



23. せとさんち



- 2020年/横浜市立大学, 横浜国立大学
- 築80年の空き家をリノベーションし、地域住民が集まる場所に生まれ変わらせる。学生が主体となってイベントを開催し、地域との交流を深めている。町内会と協力し、スマホ教室や祭礼のお手伝いなど、様々な活動を通じて地域に貢献。

*2026年3月で活動終了



横浜アクションマップ

掲載団体募集！

横浜には精力的に活動している若者団体がまだまだあるはず！！「こんな団体がある！」

「うちの団体も載せて欲しい！」

そんな情報がありましたら、是非、アクションポータル横浜までお寄せください。

NPO法人アクションポータル横浜

横浜アクションアワード担当

apygakusei@gmail.com



コトラボ合同会社
「ヨコハマホステルヴィレッジ」

コミュニティ再生・起業



**NPO法人かながわ外国人
すまいサポートセンター**

外国人支援



**NPO法人
パノラマ**

子ども・若者支援



**NPO 法人
アスリード**

若者のキャリア
教育支援・企業連携



**NPO法人
横浜市民アクト**

まちづくり・市民活動支援



**つづきアート&
メディアパートナーズ**

文化芸術



**NPO法人
アークシップ**

まちづくり、アート



**NPO法人
ビッピー・親子サポートネット**

子育て・介護・障がい支援・
学齢期児童の居場所



**NPO法人
教育支援協会南関東**

子ども・若者の学び、
体験を促進



**NPO法人
横浜NGOネットワーク**
国際協力



**生活クラブ
生活協同組合・神奈川**
暮らしを豊かにする事業



**NPO法人
アクションポート横浜**
中間支援、まちづくり

30. 師岡こども学習会



- 2017年/様々な大学
- 師岡地区内の小学生を対象に、師岡町会館で月に一回行っている学習会。大学生ボランティアが勉強を教える「学びの時間」と工作やちょっとした実験など工夫をこらしたプログラムで子供たちの興味をひきだし、楽しく学ぶ「みんなの時間」で構成されている。

31. 慶應義塾大学公認学生団体 S.A.L.Oikosプロジェクト



- 2023年/慶應義塾大学
- 「国内の貧困問題に食を通してアプローチを」をビジョンに、路上生活者の方々への炊き出し活動、学生のみで運営する子ども食堂、フードロスを活用した貧困支援の3つを軸に活動。また、大阪や京都でのボランティア参加や勉強会を通して、メンバーの知見をより深めている。



32. 東京都市大学 ISO学生委員会



- 1998年/東京都市大学
- 横浜キャンパスが取得したISO14001認証の維持と、学外の環境意識向上を目的に活動。地域のお祭りや若者環境デーへの参加、グリーンカーテンプロジェクトの実施など、多岐にわたる活動を展開。また、ペットボトルキャップ回収などを通して環境保全に貢献。



33. あおばコミュニティ・テラス



- 2020年/様々な大学・高校生
- 横浜市青葉区青少年の地域活動拠点。中高生主体のまちづくりプロジェクト、地域ボランティア活動、中高生、大学生、大学生の自主企画イベントやワークショップを行っている。地域の交流の場でもある。



34. 桐蔭横浜大学 ボランティアサークルVinca



- 2024年/桐蔭横浜大学
- 学内のボランティア・ラボを通じてマラソンでの通行人誘導や、子ども向けイベント・地域のお祭りの運営補助などを行う。「地域の方々とのつながりを大切に!ボランティア活動を通し、自分たちの成長に繋げる!」をキャッチコピーに活動している。



35. ユニゲート



- 2024年/様々な大学
- 「地域と繋がる学生集団!」をモットーに鶴見区で活動している有志学生団体、ユニゲート。「大学生と関わりたい地域」と「活動したい大学生」のマッチングと大学生同士の交流を生み出すことで継続的に地域に入る学生を増やす環境づくりを目指し、活動している。



NPOインターンシップ

学生とNPOをつなぐプログラムの事例

アクションポート横浜では、横浜の地域やNPOに関心を持つ学生を発掘し、活動するきっかけを作るため、NPOインターンシップ事業を2009年より運営している。

この事業では横浜近隣大学と受入NPOにご協力をいただき、学生は関心のあるNPOで夏休みを中心におよそ10日間～6ヶ月間の活動を体験する。提携大学の学生は授業の一環としてこのプログラムに参加できるため、幅広い層の学生がまちへの一歩を踏み出すきっかけとなっている。



2025年度の活動 参加者数 計69名 (短期：58名、長期：11名)

長期実践型

期間：週1～2回(200～400時間)
時期：8-2月

短期体験型

期間：10日前後(80時間)
時期：8-9月

提携大学

神奈川大学、関東学院大学、専修大学、東海大学、フェリス女学院大学、
明治学院大学、横浜市立大学、横浜商科大学



Step

事前研修会

実際に活動するにあたって、インターンシップに必要な基礎知識を学ぶ研修会を実施。参加学生同士の交流も深まる。



Step

NPOと学生の相談会

参加学生と受け入れNPOが直接話すことができる機会。様々な団体を見て、活動したい団体を選ぶ。



Step

修了式・成果報告会

活動内容を振り返り、互いの成果を報告し合う。最後に修了書を受け取り、プログラムは終了。

42.ワダヨコ



- 2010年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が中心となり、和田町で地域交流活動を実施。子ども向けイベントの企画・開催や、町内会主催のイベントへの参加を通して、地域住民との交流を深めている。和田町のゆるキャラ「和田丸」の運営も担い、地域の魅力を発信する。



43.てらこやみなどみらい



- 2018年/神奈川大学、横浜国立大学、高校生
- 学生と子どもが共に成長し、個性が輝く企画を月に一度行う。アットホームな雰囲気、一人ひとりとの関わりを重視する。学生と子どもの第三の居場所をつくり、全国でてらこやネットワークの一員として、地域の子どもと活動。



西区

44.あすのち



- 2017年/様々な大学
- 「子どもが自分の明日を信じていける社会」を目指し、無料の学習サポート教室とフリースペースを開いているボランティア団体。小学生から19歳までが対象で、スタッフと一対一で宿題や受験勉強に取り組んだり、ボードゲームであそんだりして過ごすことができる。



2024/2025/2026年出場

西区

45.FPTEENS×一般社団法人横浜西口エリアマネジメント



- 2017年/高校生
- 横浜駅西口エリアのまちの活性化と魅力追求に、10代の目線で取り組む高校生チーム。「ニシグチを楽しむ、楽しんでもらう」を合言葉にまちのリサーチ、イベント企画、情報発信などを行う。まちづくりに関わりながら、西口を舞台に自分達のやってみてみたい事に挑戦する。



西区/港北区

46.関東軽音部



- 2023年/高校生
- 関東圏で「学校に軽音部がない」「学校の軽音部になじめない」「外部でも軽音活動がしたい」という学生の居場所を作るために設立。地域のライブハウスと協力してライブを開催し、出演者やスタッフ、そして地域の人々が交流する場を提供する。運営は高校生が行う。



西区

47.NPO法人Connection of the Children



- 2010年/様々な大学
- 「全ての子どもがやりたい事を見つけ、それに挑戦できる社会」と「国籍や文化、障がいに関わらず誰もが温かい気持ちで繋がる社会」を目指し、子どもたちの挑戦を応援する教育事業や国際交流事業を行っている。



54.Re:BASE



- 2025年/様々な大学
- 中高生を主な対象にした【自習室】と【居場所（BASE）】を融合させた理想の自習室。家や学校に以外のもう一つの居場所として、みんなが勉強したり、気軽に集まったり、時には地域の人とちょっとした交流が生まれる、そんな場所になったらいいと考えている。



55.Canvas



- 2023年/立教大学, 神奈川大学, 東洋英和女学院大学
- 将来に熱狂し、ありのままの自己表現ができる中高生を増やすことを目指す。対話イベント、3ヶ月間のプログラム、オリジナルカードゲーム、メンター会を通し、自他を知る▶自分を探り深める▶自分を試し耕すを一貫して提供。



56.NPO法人HpRun



- 2020年/様々な大学, 高校生, 中学生
- 「若者×社会課題解決×スポーツ」をテーマに、スポーツの振興と社会貢献活動推進のため、HpRunClubの運営や、身近な取り組み方で環境の保全を図るイベントの開催などを行っている。



57.ヨコハマゼロワン



- 2025年/様々な大学, 高校生, 中学生
- 「横浜の未来をキミの手で！」を掲げ、GREEN×EXPO 2027を見据えて、中高大生が主体となり横浜の未来につながるプロジェクトを企画・実践する枠組み。2025年度は基盤づくりを行い、2026年度から本格始動予定。



58.全国学生ボランティアフォーラム



- 2018年/様々な大学
- ビジョンに「ボランティアっていいよね」を文化に、を掲げ、地域や分野を超えたコミュニティ作りをしている。年に1度、全国からボランティアに関わる学生が集まり、泊まりがけでボランティアや自分の活動についてとことん語り合う合宿研修型のプログラム。



59.NPO法人アクションポート横浜



- 2008年/様々な大学
- アクションポート横浜は若者とNPOをつないで、まちを盛り上げる活動を行うNPO。「まちにたくさんの主人公を！」を合言葉に、学生が主体となりコーディネートしながら、まちに関わる機会を作っている。



54.Re:BASE



- 2025年/様々な大学
- 中高生を主な対象にした【自習室】と【居場所（BASE）】を融合させた理想の自習室。家や学校に以外のもう一つの居場所として、みんなが勉強したり、気軽に集まったり、時には地域の人とちょっとした交流が生まれる、そんな場所になったらいいと考えている。



55.Canvas



- 2023年/立教大学, 神奈川大学, 東洋英和女学院大学
- 将来に熱狂し、ありのままの自己表現ができる中高生を増やすことを目指す。対話イベント、3ヶ月間のプログラム、オリジナルカードゲーム、メンター会を通し、自他を知る▶自分を探り深める▶自分を試し耕すを一貫して提供。



56.NPO法人HpRun



- 2020年/様々な大学, 高校生, 中学生
- 「若者×社会課題解決×スポーツ」をテーマに、スポーツの振興と社会貢献活動推進のため、HpRunClubの運営や、身近な取り組み方で環境の保全を図るイベントの開催などを行っている。



57.ヨコハマゼロワン



- 2025年/様々な大学, 高校生, 中学生
- 「横浜の未来をキミの手で！」を掲げ、GREEN×EXPO 2027を見据えて、中高大生が主体となり横浜の未来につながるプロジェクトを企画・実践する枠組み。2025年度は基盤づくりを行い、2026年度から本格始動予定。



58.全国学生ボランティアフォーラム



- 2018年/様々な大学
- ビジョンに「ボランティアっていいよね」を文化に、を掲げ、地域や分野を超えたコミュニティ作りをしている。年に1度、全国からボランティアに関わる学生が集まり、泊まりがけでボランティアや自分の活動についてとことん語り合う合宿研修型のプログラム。



59.NPO法人アクションポート横浜



- 2008年/様々な大学
- アクションポート横浜は若者とNPOをつないで、まちを盛り上げる活動を行うNPO。「まちにたくさんの主人公を！」を合言葉に、学生が主体となりコーディネートしながら、まちに関わる機会を作っている。



42.ワダヨコ



- 2010年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が中心となり、和田町で地域交流活動を実施。子ども向けイベントの企画・開催や、町内会主催のイベントへの参加を通して、地域住民との交流を深めている。和田町のゆるキャラ「和田丸」の運営も担い、地域の魅力を発信する。



43.てらこやみなどみらい



- 2018年/神奈川大学、横浜国立大学、高校生
- 学生と子どもが共に成長し、個性が輝く企画を月に一度行う。アットホームな雰囲気、一人ひとりとの関わりを重視する。学生と子どもの第三の居場所をつくり、全国でてらこやネットワークの一員として、地域の子どもと活動。



西区

44.あすのち



- 2017年/様々な大学
- 「子どもが自分の明日を信じていける社会」を目指し、無料の学習サポート教室とフリースペースを開いているボランティア団体。小学生から19歳までが対象で、スタッフと一対一で宿題や受験勉強に取り組んだり、ボードゲームであそんだりして過ごすことができる。



2024/2025/2026年出場

西区

45.FPTEENS×一般社団法人横浜西口エリアマネジメント



- 2017年/高校生
- 横浜駅西口エリアのまちの活性化と魅力追求に、10代の目線で取り組む高校生チーム。「ニシグチを楽しむ、楽しんでもらう」を合言葉にまちのリサーチ、イベント企画、情報発信などを行う。まちづくりに関わりながら、西口を舞台に自分達のやってみたい事に挑戦する。



西区/港北区

46.関東軽音部



- 2023年/高校生
- 関東圏で「学校に軽音部がない」「学校の軽音部になじめない」「外部でも軽音活動がしたい」という学生の居場所を作るために設立。地域のライブハウスと協力してライブを開催し、出演者やスタッフ、そして地域の人々が交流する場を提供する。運営は高校生が行う。



西区

47.NPO法人Connection of the Children



- 2010年/様々な大学
- 「全ての子どもがやりたい事を見つけ、それに挑戦できる社会」と「国籍や文化、障がいに関わらず誰もが温かい気持ちで繋がる社会」を目指し、子どもたちの挑戦を応援する教育事業や国際交流事業を行っている。



NPOインターンシップ

学生とNPOをつなぐプログラムの事例

アクションポート横浜では、横浜の地域やNPOに関心を持つ学生を発掘し、活動するきっかけを作るため、NPOインターンシップ事業を2009年より運営している。

この事業では横浜近隣大学と受入NPOにご協力をいただき、学生は関心のあるNPOで夏休みを中心におよそ10日間～6ヶ月間の活動を体験する。提携大学の学生は授業の一環としてこのプログラムに参加できるため、幅広い層の学生がまちへの一歩を踏み出すきっかけとなっている。



2025年度の活動 参加者数 **計69名** (短期：58名、長期：11名)

長期実践型

期間：週1～2回(200～400時間)
時期：8-2月

短期体験型

期間：10日前後(80時間)
時期：8-9月

提携大学

神奈川大学、関東学院大学、専修大学、東海大学、フェリス女学院大学、
明治学院大学、横浜市立大学、横浜商科大学



Step

事前研修会

実際に活動するにあたって、インターンシップに必要な基礎知識を学ぶ研修会を実施。参加学生同士の交流も深まる。



Step

NPOと学生の相談会

参加学生と受け入れNPOが直接話すことができる機会。様々な団体を見て、活動したい団体を選ぶ。



Step

修了式・成果報告会

活動内容を振り返り、互いの成果を報告し合う。最後に修了書を受け取り、プログラムは終了。

30. 師岡こども学習会



- 2017年/様々な大学
- 師岡地区内の小学生を対象に、師岡町会館で月に一回行っている学習会。大学生ボランティアが勉強を教える「学びの時間」と工作やちょっとした実験など工夫をこらしたプログラムで子供たちの興味をひきだし、楽しく学ぶ「みんなの時間」で構成されている。

31. 慶應義塾大学公認学生団体 S.A.L.Oikosプロジェクト



- 2023年/慶應義塾大学
- 「国内の貧困問題に食を通してアプローチを」をビジョンに、路上生活者の方々への炊き出し活動、学生のみで運営する子ども食堂、フードロスを活用した貧困支援の3つを軸に活動。また、大阪や京都でのボランティア参加や勉強会を通して、メンバーの知見をより深めている。



32. 東京都市大学 ISO学生委員会



- 1998年/東京都市大学
- 横浜キャンパスが取得したISO14001認証の維持と、学外の環境意識向上を目的に活動。地域のお祭りや若者環境デーへの参加、グリーンカーテンプロジェクトの実施など、多岐にわたる活動を展開。また、ペットボトルキャップ回収などを通して環境保全に貢献。



33. あおばコミュニティ・テラス



- 2020年/様々な大学・高校生
- 横浜市青葉区青少年の地域活動拠点。中高生主体のまちづくりプロジェクト、地域ボランティア活動、中高生、大学生、大学生の自主企画イベントやワークショップを行っている。地域の交流の場でもある。



34. 桐蔭横浜大学 ボランティアサークルVinca



- 2024年/桐蔭横浜大学
- 学内のボランティア・ラボを通じてマラソンでの通行人誘導や、子ども向けイベント・地域のお祭りの運営補助などを行う。「地域の方々とつながりを大切に!ボランティア活動を通し、自分たちの成長に繋げる!」をキャッチコピーに活動している。



35. ユニゲート



- 2024年/様々な大学
- 「地域と繋がる学生集団!」をモットーに鶴見区で活動している有志学生団体、ユニゲート。「大学生と関わりたい地域」と「活動したい大学生」のマッチングと大学生同士の交流を生み出すことで継続的に地域に入る学生を増やす環境づくりを目指し、活動している。





コトラボ合同会社
「ヨコハマホステルヴィレッジ」

コミュニティ再生・起業



**NPO法人かながわ外国人
すまいサポートセンター**

外国人支援



**NPO法人
パノラマ**

子ども・若者支援



**NPO 法人
アスリード**

若者のキャリア
教育支援・企業連携



**NPO法人
横浜市民アクト**

まちづくり・市民活動支援



**つづきアート&
メディアパートナーズ**

文化芸術



**NPO法人
アークシップ**

まちづくり、アート



**NPO法人
ピッピー・親子サポートネット**

子育て・介護・障がい支援・
学齢期児童の居場所



**NPO法人
教育支援協会南関東**

子ども・若者の学び、
体験を促進



**NPO法人
横浜NGOネットワーク**
国際協力



**生活クラブ
生活協同組合・神奈川**
暮らしを豊かにする事業



**NPO法人
アクションポート横浜**
中間支援、まちづくり

19. 明治学院大学学生ボランティア団体 あなたのとなりに。-SBC-



- 2024年/明治学院大学
- 能登半島および戸塚区にて、被災地での継続的なボランティアや物産展や展示会、活動報告会の実施といった地域支援を行う。他にも戸塚区のお祭りやイベントのお手伝いや小学校の授業のサポートなどにも携わる。



20. Umee Coffee



- 2024年/明治学院大学
- フェアトレードおよびオーガニックのオリジナルブレンドドリップパックを、学内外のイベントで販売。イベントや学内活動を通じて、メンバー一人ひとりがフェアトレードや環境問題、コーヒーに関する知識や理解を深める。



21. 新世代創造ミーティング



- 2024年/様々な大学、高校生
- 日限山周辺に住む高校生、大学生4人で結成された地域貢献を目的としたグループ。防災をテーマにした「こどもクイズラリー」を日限山地域ケアプラザで開催し、子どもを中心に98人が参加した。若い世代への防災意識啓発を行う。

22. かながわ学生ボランティア連合



- 2020年/様々な大学
- フードバンク支援「お米一合運動」の実施、子どもの居場所づくりイベントの企画、地域イベントのサポートを主にしている。



23. せとさんち



- 2020年/横浜市立大学、横浜国立大学
- 築80年の空き家をリノベーションし、地域住民が集まる場所に生まれ変わらせる。学生が主体となってイベントを開催し、地域との交流を深めている。町内会と協力し、スマホ教室や祭礼のお手伝いなど、様々な活動を通じて地域に貢献。

*2026年3月で活動終了



横浜アクションマップ

掲載団体募集！

横浜には精力的に活動している若者団体がまだまだあるはず！！「こんな団体がある！」

「うちの団体も載せて欲しい！」

そんな情報がありましたら、是非、アクションポータル横浜までお寄せください。

NPO法人アクションポータル横浜

横浜アクションアワード担当

apygakusei@gmail.com

■団体の情報発信ツールはInstagramが一番多い

Instagram
52団体

ホームページ
41団体

X (旧Twitter)
31団体

Facebook
27団体

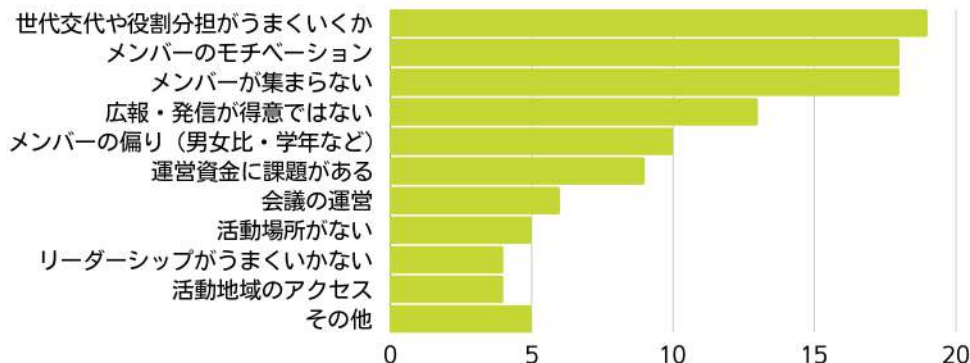
調査によるとInstagramのアカウントがある団体が52団体/59団体、ホームページがある団体が41団体/59団体であり、X (旧Twitter)は31団体/59団体、Facebookページがある団体が27団体/59団体であった。

やはり、若者の主流はInstagramであるといえる。

■活動上の課題は「世代交代や役割分担」が最多

本マップ作成を通して、団体が抱える課題として最も多く挙げられたのは、**世代交代がうまくいかない**という点であった。メンバーの入れ替わりが前提となる中で、十分に引き継いでいない団体が多いことがうかがえる。

また、次に多かった課題は**メンバーのモチベーションの維持**であり、世代交代が円滑に進まないことで、活動の目的や役割が共有されにくくなり、結果としてモチベーションの低下につながっている可能性がある。



一方で、一昨年は「広報・発信が得意ではない」という課題が最も多く見られたが、今年度はその順位が下がっている。これは、SNSの普及やAIツールの発達により、発信のハードルが下がり、一定程度解決されつつあるためだと考えられる。

2020/2022年出場

旭区

7.サコロボ



- 2017年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が左近山団地に居住し、地域住民と一体となって地域活性化に取り組む。ピザ窯を作ったり、映画祭を開催したりと、ユニークなイベントを企画・実施。地域の小中学校とも連携し、地域ぐるみの教育活動にも力を入れている。



2026年出場

旭区

8.希望が丘TONKAN(希望が丘チャレンジベース)



- 2025年/様々な大学
- 「まちの交差点」をコンセプトに、地域・学生・NPO法人・企業がタッグを組み、希望が丘チャレンジベースの整備を行う。希望が丘のまちの交流を増やす様々な人の挑戦を支える場を設計施工する。



華大賞

2020/2021/2022年出場

泉区

9.NPO法人Miks



- 2021年/様々な大学・高校生
- 高齢者向けにスマホ講座等のデジタル支援を行っている。地域活動を始めたい方向けに、スマホサポーター養成講座も開催。ケアプラザや役所、自治体と連携しながらデジタル偏差値の向上を目指している。



10.エコキャンパス研究会



- 2002年/フェリス女学院大学
- 泉区役所と連携し、ペットボトル削減やマイボトル普及に向けた啓発動画を作成。また、地元のカフェやベーカリーとコラボし、地域産の食材を使ったメニュー開発や、学園祭でのパン販売など、地域に根ざした取り組みを行う。



2023年出場

泉区

11.国際協力団体キープ・ザ・スマイル



- 2020年/フェリス女学院大学
- 発展途国の人々の暮らしを改善するため、国際協力活動を行う。フェアトレード商品の販売やイベント開催を通して、発展途国への現状を日本に伝えるとともに、学生や地域住民への啓発活動を実施。また、発展途国への調査も実施し、より効果的な支援を目指す。



泉区

12.STUDY FOR TWOフェリス女学院大学支部



- 2025年/フェリス女学院大学
- 大学内で古本を回収し、それを再販売し、得た利益で途上国の子どもたちの教育支援をしている。現在、150冊以上の本を回収しており、販売に向けて積極的に活動中。



横浜アクションマップから感じたこと 編集学生の視点から

今回、学生2人を中心に59団体の方とやり取りを行い、情報を集め、本マップを作成しました。作成を通して、学生の視点から感じたことをまとめます。

今年度は、若者団体の数、そして私たちが実際にやり取りできた団体の数が大きく増加しました。一昨年38団体、昨年42団体であった掲載団体数は、今年度は59団体となり、**年々広がりを見せています。**

その背景には、**団体同士や地域の人とのつながりが広がっている**ことがあります。意識的に連携している団体だけでなく、知らないところでゆるやかにつながりながら活動しているケースも多く見られました。

また、**企業やNPO、コーディネーターと連携しながら取り組む団体**が増え、地域内の関係性がより立体的になっています。あわせて、地域を軸に活動する団体や、**設立から1年以内の新しい団体**が増えていることも特徴です。

活動の担い手も多様化しており、特定の大学に限らず、「やりたいこと」や「地域」を軸に集まる団体が増えています。大学生だけでなく、社会人や高校生など世代を超えた活動も広がっており、**学生時代の活動を社会人になっても継続する人や、これまでの経験や特技を生かして地域に関わる団体**も見られました。

一方で、多くの団体からは、活動を継続するうえでの課題として、**メンバーのモチベーション維持や世代交代の難しさ**が挙げられました。特に、代表や運営を担う次の世代が見つからず、主体的に活動を引き継ぐ新メンバーの確保に悩む声が多く聞かれました。

こうした中で本マップには、**区内・市内で活動する他団体の存在を知り、つながることで、困ったときに協力し合える関係を築きたい**という期待が寄せられています。団体同士が互いの活動を知り、**地域の中で支え合うことが、活動の継続や人材の循環につながる**可能性があると考えます。

本マップが、**これから地域に関わりたい若者にとっての「はじめの一歩」となる**と同時に、**すでに活動している団体にとっても、つながりを広げ、活動を続けていくための支え**となることを期待しています。



栄区・金沢区・磯子区

- | | | |
|----|------------------------------|---------|
| 22 | かながわ学生ボランティア連合 | 金沢区 |
| 23 | せとさんち | 金沢区 |
| 24 | 横浜市立大学
学生ボランティア団体 Clover | 金沢区 |
| 25 | 横浜市立大学ボランティア団体
one by ONE | 金沢区/鶴見区 |
| 26 | LINKAI横浜金沢ラボ研究室 | 金沢区 |
| 27 | 横浜市立大学柴田ゼミ
ねぎとろ/NEGITOLLO | 金沢区/横浜市 |
| 28 | 横浜市立大学医学部YDC | 金沢区 |

港北区・都筑区・青葉区

- | | | |
|----|-----------------------------------|---------|
| 29 | きちじつ! まったりルーム | 港北区 |
| 30 | 師岡こども学習会 | 港北区 |
| 31 | 慶應義塾大学公認学生団体
S.A.L.Oikosプロジェクト | 港北区 |
| 32 | 東京都市大学 ISO学生委員会 | 都筑区 |
| 33 | あおばコミュニティ・テラス | 青葉区 |
| 34 | 桐蔭横浜大学
ボランティアサークルVinca | 青葉区/横浜市 |

鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区

- | | | |
|----|--------------------------|-----------------|
| 35 | ユニゲート | 鶴見区 |
| 36 | NPO法人まち×学生
プロジェクトPlus | 神奈川区 |
| 37 | サンタクリーン大作戦 | 神奈川区 |
| 38 | AgridgeProject | 保土ヶ谷区 |
| 39 | KIKCAFE学生部
+チーム平成 | 保土ヶ谷区 |
| 40 | かたびらカモ隊 | 保土ヶ谷区 |
| 41 | ほどがや無料塾 | 保土ヶ谷区 |
| 42 | ワダヨコ | 保土ヶ谷区 |
| 43 | てらこやみなどみらい | 保土ヶ谷区
/西区/中区 |

西区・中区・南区

- | | | |
|----|-----------------------------------|--------|
| 44 | あすのち | 西区 |
| 45 | FPTEENS×一般社団法人横浜西口
エリアマネジメント | 西区 |
| 46 | 関東軽音部 | 西区・港北区 |
| 47 | NPO法人Connection of
theChildren | 西区 |
| 48 | 野毛坂グローバル | 西区 |
| 49 | かんきょう文化祭 | 中区 |
| 50 | 一般社団法人GRAF(グループ) | 南区 |
| 51 | スリバチ | 南区 |
| 52 | 下町編集室OKASHI | 中区/南区 |
| 53 | にじいろ探検隊 | 中区 |
| 54 | Re.BASE | 中区 |

横浜市全域・全国

- | | | |
|----|-----------------|------|
| 55 | Canvas | 横浜市内 |
| 56 | NPO法人HpRun | 横浜市内 |
| 57 | ヨコハマゼロワン | 横浜市内 |
| 58 | 全国学生ボランティアフォーラム | 全国 |
| 59 | NPO法人アクションポート横浜 | 横浜市内 |

NPO法人アクションポート横浜紹介



APYは**若者**と**NPO**をつないでまちを盛り上げるNPOです

アクションポート横浜では、大学生をはじめとした若い世代が主体となり、まちに関わる様々なプロジェクトやイベントを運営しています。また、若者とNPOの協働事業や、若者と企業が連携するプロジェクトにも取り組んでいます。

「何かやってみたい」と思っている若者の皆さんはもちろん、若い世代を受け入れたい、一緒に活動してみたいと考えている団体・企業の皆さまも、ぜひお気軽にお声がけください。



アクションポート横浜への参加お待ちしております！



NPO法人アクションポート横浜

公式ホームページ

〒231-0023 横浜市中区山下町94番地横浜中華街/パーキング協同組合内

TEL: 045-662-4395

Mail: info@actionport-yokohama.org



横浜アクションアワードとは

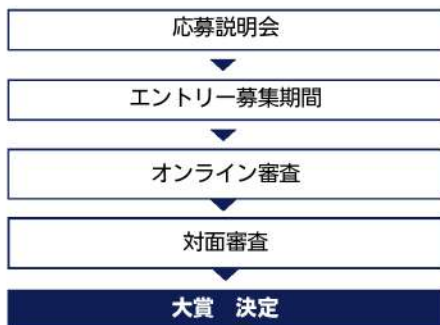
横浜アクションアワードは、**若者と地域のNPOや団体が協働している事例**を多くの方に知ってもらい、広げていくことを目的にしています。そのため、活動の表彰に加え、活動を応援する場、つながりを広げる場としての工夫を設けています。

審査員は、企業や行政、NPO、高校生など**多様なまちのプレイヤー**が務め、プレゼン審査当日は一般の来場者にも審査に参加していただけるほか、参加団体と参加者がつながる交流タイムも用意しています。さらに、受賞団体には、活動に役立つプライスレスな支援を**サポートメニュー**として提供するなど、団体の活動支援の輪を広げ、持続可能な「若者×地域」の活動事例が増えていくことを目指しています。



発信する	つながる	未来へつなぐ
学生と地域の連携による活動の魅力や意識、そして課題を発信していきます。	参加団体同士、団体と参加者、いろいろな人がつながり合う場を運営します。	この場での出会いが活動を次のステージへ、未来へとバトンをつなぎます。

1年の流れ & 応募資格



- ・横浜市及び近隣での活動であること
- ・30歳以下の若者グループ・個人であること
- ・若者と地域コミュニティの連携事例であること
- ・地域活性化や社会性の高い活動であること
- ・2025年度に実施している活動、および2026年度に実施予定の活動

ご支援・ご協力をいただいた皆様

たくさんのご支援があって、この横浜アクションマップが発行できました。
ご支援をありがとうございました。

<横浜アクションマップご協賛>

一般社団法人ACTO日吉、ウイング横浜北法律事務所、税理士法人エンパワージャパン、
公益財団法人横浜企業経営支援財団



<横浜アクションマップ個人寄付>

伊澤玲奈様、岩永さち子様、小川楓人様、川原直也様、小林祐介様、白井結芽様、
中嶋伴子様、細野瑞希様、I.N様、

<横浜アクションマップ作成協力>

作成協力：伊澤玲奈さん、藤島美聡さん、八角拓実さん、その他協力してくれた学生の皆さん
表紙作成：鈴木麗加さん

横浜アクションマップを寄付で支えてください

この「横浜アクションマップ」は、学生ボランティアが中心となり、皆様のご支援と自主財源で作成しました。

寄付はこちらから

この冊子を手にとっていただき、「若者団体の活動を知ることができた」「若者団体と繋がることができた」など、冊子の価値や意義を感じていただいたら、ぜひとも寄付で応援してください。活動の継続を支えてください。





発行：2026年3月
発行者：NPO法人アクションポート横浜
作成：郡司桃花、中山智萌、高城芳之

このマップは、若者の地域参加を広げる活動の一環として制作しています。
活動応援基金への寄付（1口500円）にご協力をお願いします。

横浜銀行本店営業部 普通預金 1847186 特定非営利活動法人 アクションポート横浜

寄付はこちら



〒231-0023 横浜市中区山下町94番地 横浜中華街パーキング協同組合内
TEL:045-662-4395
URL:<https://actionport-yokohama.org/>

アクションポート横浜

検索